

-SENZOKUGAKUEN college of Music-

第28回 電子オルガンコース

# 定期演奏会

2021.9.25(土)

15:00 開演 14:30 開場

洗足学園音楽大学 ブラックホール 1F

ビッグマウス

## ◆ Program ◆

### - 第1部 -

1. Reverie / 兒玉 もも  
兒玉 もも(学2)
2. slang / Michael Brecker  
青木 美苗(学2)
3. 交響曲第7番イ長調作品92  
第1楽章 / L.v. ベートーヴェン  
平尾 日菜向(学1)
4. Dream Dust in the Dark  
/ 井潤 昌樹  
山田 日向(学1)
5. Ranunculus / 稲葉 絢音  
稲葉 絢音(学2)
6. Sky-High / 瀬戸口 祥  
瀬戸口 祥(学2)
7. ゲノフェーファ序曲 / R. シューマン  
向田 真未(学2)

### - 第2部 -

8. Reflection / 板橋 美波  
板橋 美波(学3)
9. バレエ組曲《白鳥の湖》よりワルツ  
/ P.I. チャイコフスキー  
永田 凜太郎(学1)
10. バレエ音楽「ライモンダ」/ A. グラズノフ  
伊藤 友香(学2)
11. Tomorrow is another day  
/ 海老原 菜月  
海老原 菜月(学4)
12. 交響曲第10番ホ短調作品93  
第2楽章 / D. ショスタコーヴィチ  
中村 沙耶(学1)
13. a wonderful encounter  
/ 樋口 友美  
樋口 友美(学4)
14. 交響詩「マゼッパ」 / F. リスト  
内海 菜々美(学3)

## ◆ Program note ◆

### ～ 第1部 ～

#### 1. Reverie / 兒玉 もも

(兒玉 もも)

「Reverie」には、“幻想”や“夢想”といった意味があります。私は高速道路の夜景が好きで、その幻想的な景色や、その景色を見たときの感動を音楽で表現したいと思い、作曲しました。都会のお洒落な雰囲気を表現するために、シティ・ポップの要素も取り入れてみました。大切な人との夜のドライブを、どうぞごゆっくりお楽しみください。

#### 2. slang / Michael Brecker

(青木 美苗)

この曲は冒頭からどこか怪しい雰囲気が漂っているのが特徴的です。トランペットのミュートの音色を筆頭に、掴みどころのないような音やモチーフが度々出てきて、それを一層際立たせています。リズムの感じ方も場面ごとに違い、流れるような箇所と細かく移り変わる箇所があります。その曲の雰囲気を想像しながら聞いていただければと思います。

#### 3. 交響曲第7番イ長調作品92 第1楽章 / L.v.ベートーヴェン

(平尾 日菜向)

冒頭、力強く響き渡る一音に続きオーボエが旋律を奏で、序奏は穏やかな旋律や何度かはさみ、16分音符の上昇音型が反復されながらフルートによって軽やかに第一主題が奏でられ、オーケストラの続奏へ発展します。交響曲7番は、リズムが印象に残る曲で特に第1楽章は1つのリズムを使い続けます。交響曲6番から3年を要した7番は戦争、失恋を乗り越えたベートーヴェンの新たな生きる力が表現されているのかもしれない。

#### 4. Dream Dust in the Dark / 井潤 昌樹

(山田 日向)

この曲は、ジャズ調のリズムが特徴的な吹奏楽の曲です。作曲者の井潤昌樹さんはこの曲の概要を出していないので私の解釈になりますが、暗闇の中にある「Dream Dust」=夢のカケラを集めるために、さまざまな苦境を乗り越えていく様子を想像して演奏しています。情熱的なシーンから穏やかなシーンへの移り変わりも見所です。

#### 5. Ranunculus / 稲葉 絢音

(稲葉 絢音)

Ranunculus は沢山の色を持ち、それぞれの色に違う花言葉がついています。その花々が一面に広がっていて風に吹かれていたり、キラキラ輝いている様子をイメージして作りました。ポップリードで花の可愛らしさを、ストリングスで壮大感を、所々の効果音で風景を表現しています。是非、Ranunculus の花畑を想像しながら聞いていただければと思います。

#### 6. Sky-High / 瀬戸口 祥

(瀬戸口 祥)

この曲は空高く、どこまでも駆け抜けていくようなイメージで作りました。どのメロディーも綺麗で親しみやすく、簡単に口ずさめるものになるように心がけて作ったので、そこにも注目して聴いていただけたら嬉しいです。皆さまの頭の中に、突き抜けるような澄んだ青空が思い浮かびますように。

#### 7. ゲノフェーファ序曲 / R.シューマン

(向田 真未)

「ゲノフェーファ」はシューマンの残したただひとつのオペラであり、中世のヨーロッパの聖女ゲノフェーファの伝説を元にして作られました。非常にゆったりとした序奏の冒頭は不安定な情緒をかきたてる和音構成となっています。中間部のホルンによる勇壮なファンファーレ、木管楽器の流れるようなフレーズなど様々な楽器が特徴的な曲となっております。

## -第2部-

### 8. Reflection /板橋 美波

(板橋 美波)

雨の日によく見かける、小さな水溜りに映る反射、リフレクション。ある夜、深夜の静かな海辺で見たリフレクションは、広い海に東京の光が映し出されていて、暗い水面に街の全ての光が吸い込まれているような、反対側の世界を映し出したさされているような。この曲は、この不思議で、かつ素敵なりフレクションの世界をイメージして作った曲です。

### 9. バレエ組曲《白鳥の湖》よりワルツ /P.I.チャイコフスキー

(永田 凜太郎)

ワルツとは、日本語では円舞曲と訳されるとおり、踊りのための三拍子のことです。ロシアのワルツ王とも呼ばれるチャイコフスキーは、自身初のバレエ音楽として《白鳥の湖》を発表し、これは現在、彼の「3大バレエ」にのひとつに数えられています。第2幕冒頭「情景」のオーボエによる悲壮感あふれる主題はあまりにも有名ですが、「ワルツ」では、それとは対照的な優雅さ、また強烈なダイナミクスの変化による劇的な音楽を感じていただければと思います。

### 10. バレエ音楽「ライモンダ」/A.グlazノフ

(伊藤 友香)

ライモンダは全3幕4場のバレエ作品でグlazノフが作曲しました。この作品は、ライモンダという女性をめぐる決闘の末に恋人同士の2人が結婚式で結ばれるというお話です。今回は、2時間の演奏の中から第2幕の「アラブの踊り～サラセンの踊り」、そして第3幕の「前奏曲」を演奏します。リズム感のある楽しい踊りの場面と結婚が決まり華やかで喜びに満ちた祝福の場面を思い浮かべながらお聴きください。

### 11. Tomorrow is another day /海老原 菜月

(海老原 菜月)

喜怒哀楽という言葉があるように、人生の中で色々な感情の日があると思います。「Tomorrow is another day」は明日は明日の風が吹く、という意味で知られていますが、私は上手くいかなくて落ち込んだ日があっても「明日は明るい未来が待っている」という前向きな想い、そして何事にも挑戦していこうという決意を込め曲にしました。

### 12. 交響曲第10番ホ短調作品93 第2楽章 /D.ショスタコーヴィチ

(中村 沙耶)

交響曲第10番は、ショスタコーヴィチが1953年に前作第9番から8年を経て発表した交響曲です。この曲の初演は、長らく停滞したソ連の作曲界にとって、創作上の“雪解け”に向けての決定的な一歩となりました。本日演奏する第2楽章は疾風怒濤のように走り抜けるスケルツォで、弦楽器、木管楽器の早いパッセージや金管楽器のファンファーレが特徴的です。荒れ狂う嵐のような4分半、是非お楽しみいただければと思います。

### 13. a wonderful encounter /樋口 友美

(樋口 友美)

大学での4年間、自分が思い描いていた以上に沢山の素敵な音楽や人たちに会うことができました。そんな4年間の思い出を曲にしたいと思い、変拍子ながらも穏やかなビートと温かいメロディーで表現しました。聴きやすいメロディー作りやコードワークにもとてもこだわったので、心地よさを感じて頂けたら嬉しいです。

### 14. 交響詩「マゼッパ」 /F.リスト

(内海 菜々美)

交響詩「マゼッパ」のマゼッパとは、実在の人物で17世紀に現在のウクライナに生まれています。ウクライナの権利拡大のために戦ったウクライナの英雄です。英雄がいったんは挫折するものの、その後人望を得て、国土のために戦い、回復を目指すという物語なので、迫力あるオーケストラに向けた題材でした。英雄マゼッパが戴冠する華々しい最後の場面は金管が鳴り響く派手なオーケストレーションになっています。

## ～ ご来場のお客様へご協力をお願い ～

◎入場制限について（次に該当する方はご入場いただけません）

- ・37℃以上の発熱がある方、発熱が続いている方
- ・風邪の症状（発熱、咳、くしゃみ、喉の痛み等）がある方
- ・強いだるさ（全身倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある方
- ・その他体調に不安がある方（味覚・嗅覚障害、目の痛みや結膜の充血、頭痛、関節痛、下痢、吐き気等）
- ・過去2週間以内に新型コロナウイルス感染症陽性とされた方との濃厚接触がある方
- ・過去2週間以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域への訪問歴及び当該在住者との濃厚接触がある方

※基礎疾患（糖尿病・心不全・呼吸器疾患等）がある方、妊娠中の方は、医師の判断や関係機関の情報を確認の上、慎重なご判断をお願いします。

◎ご入場之际し、以下の事項についてご協力をお願いします。

- ・上記「入場制限について」への同意
- ・感染者が発生した場合には、必要に応じてご来場者情報を保健所へ提供させていただく場合がございますので予めご了承ください。（提出いただいた個人情報はコロナウイルス感染の発生がなかったことを確認の上、演奏会約三か月後に適切に削除します）
- ・マスクの着用やソーシャルディスタンスの確保など新しい生活様式におけるエチケットの厳守をお願いします。
- ・楽屋面会、花束やプレゼントの持ち込みはお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしていただきますようお願いいたします。

【監修】

赤塚 博美(統括教授)

【アカデミック・コーディネーター】

大島 健太郎

【定期演奏会実行委員】

前川 詩織(学4)、石倉 杏華(学2)、  
窪山 花(学2)、渡邊 琴美(学2)

【音響】

齋藤 粹生(音楽環境創造コース教員)

【照明】

三輪 徹郎(音楽環境創造コース教員)

【指導教員】

加曾利 康之(客員教授)、三原 善隆(客員教授)、  
渡辺 睦樹(客員教授)、岩崎 孝昭(講師)、上野山 英里(講師)、  
上原 直(講師)、大竹 くみ(講師)、岡田 久常(講師)、  
小川 真澄(講師)、高田 和泉(講師)、原田 昭宏(講師)、  
三宅 康弘(講師)

【アシスタント】

大熊 美子、松下 紗弓